

ここが聞きたい!
13議員
が登場

一般質問・議案質疑

※一般質問とは市政全般について質問することです。議案質疑とは議案に対して疑問点を問いただすことです。

◆一般質問・議案質疑の項目一覧(質問順)

柳 収一郎 議員

- 市長の政治姿勢について
 - ・統一地方選挙を振り返り
 - ・市長就任2年を経過して
- 人口減少対策について
 - ・就職する場の確保
 - ・子育て支援
 - ・高齢者スポーツの振興
- 安全安心の地域づくりについて
 - ・歩行者専用地下道の見直し
 - ・今福橋交差点の信号機設置の見直し

富永 悦子 議員

- 女性の視点を生かした政策について
 - ・男女共同参画の推進
- 大切な子供を皆ではぐくむ教育行政について
 - ・子供の携帯電話の利用状況
 - ・子供のネット依存
- 市民が安心して生活できる制度の整備について
 - ・生活困窮者対策
 - ・生活困窮者自立支援法における子供の学習支援
- 地方創生について
 - ・移住対策の推進

横山 育男 議員

- 市長の政治姿勢について
 - ・第7次足利市総合計画基本構想
- 教育行政について
 - ・政治的介入と中立性
 - ・新教育長としての所信と課題への取り組み
 - ・総合教育会議
- 観光行政について
 - ・シティセールスの展開

末吉 利啓 議員

- 市長の政治姿勢について
 - ・人口問題
 - ・映像のまち構想
 - ・シティプロモーション
- 観光政策について
 - ・足利学校を初めとする史跡や文化財の活用
 - ・市民力の活用
- 選挙の投票率について
 - ・平成27年統一地方選挙
 - ・投票率向上対策

中島 由美子 議員

- 第7次足利市総合計画基本構想について
 - ・本市の人口と将来都市像
- 環境行政について
 - ・総合的なごみ処理施設の新たな整備
 - ・循環型社会の構築
- 空き家対策について
 - ・空き家の現状と対応
 - ・空き家等対策の推進に関する特別措置法の効果
 - ・中心市街地等の空き家の増加
- 中心市街地活性化と安全対策について
 - ・足利赤十字病院跡地を含む周辺整備

平塚 茂 議員

- 市長の政治姿勢について
 - ・足利市の活性化策
 - ・地方版総合戦略の策定
- ごみ処理行政について
 - ・一般廃棄物最終処分場小俣処分場用地の契約更新問題
- 教育行政について
 - ・義務教育における政治教育

須田 瑞穂 議員

- 一般廃棄物最終処分場小俣処分場について
 - ・これまでの経緯
 - ・委託契約に対する財政負担
- 空き家対策について
 - ・本市の現状
 - ・特別措置法の施行と本市の取り扱い
- 児童虐待について
 - ・本市の児童虐待防止対策

大島 綾 議員

- 福祉行政について
 - ・認知症対策
 - ・「あんしんカード」等の配布
 - ・産前・産後ケア
- 足利の活性化について
 - ・市民農園の設置

荻原 久雄 議員

- 市長の政治姿勢について
 - ・公設市場の民営化への進捗状況
 - ・南部クリーンセンター
 - ・一般廃棄物最終処分場小俣処分場
 - ・福居町地内の一般県道佐野太田線(例幣使街道)拡幅
- 教育行政について
 - ・英会話教育
 - ・教育の公平性
- 第7次足利市総合計画基本構想について
 - ・人口とまちづくりの考え方
 - ・産業・観光施策

藤生 智弘 議員

- 市長の政治姿勢について
 - ・映像のまち構想の推進
 - ・南部クリーンセンターの建てかえ
 - ・斎場施設の整備
- 交通安全対策について
 - ・高齢者の交通事故防止策
- 道路行政について
 - ・都市計画道路江川利保線の整備

渡辺 悟 議員

- 市長の政治姿勢について
 - ・第7次足利市総合計画基本構想
 - ・地方創生
 - ・映像のまち構想
 - ・新産業団地
 - ・人事交流

金子 裕美 議員

- 観光行政について
 - ・足利学校の日本遺産認定と観光施策
 - ・本市へ来訪する観光客の動向と対策
- 高齢者福祉について
 - ・介護予防・日常生活支援総合事業
 - ・ひとり暮らし高齢者への支援
- 子育て支援について
 - ・子供が遊ぶ環境

尾関 栄子 議員

- 市民の命を守るために
 - ・世界に誇る憲法第9条堅持
- 地域経済の活性化
 - ・市民の住宅、店舗環境の充実で業者の仕事こし
- 市民負担軽減のために
 - ・安心してかかる医療と子育て支援
 - ・安心して受けられる介護保険
- 議案第41号 工事請負契約の変更について

質問、答弁とも要旨のみを掲載しています。6月市議会定例会の会議録は、8月下旬からインターネット上の会議録検索システムに掲載を予定しておりますので、詳しくは市議会ホームページをご覧ください。



人口減少対策として子育て支援の充実は有効な手段！



柳 収一郎 議員

問 現在、こども医療費は中学生まで無料であるが、これを第3子以降は高校生まで無料にしてはどうか。また、大学に進学する場合は奨学金を貸与し、卒業後本市に居住することを条件に返済を免除するなど抜本的な施策を講じたらどうか。

市長 人口を維持するためには、10人の女性のうち7人が3人の子供を産まなければならないという試算もあるので、第3子以降の支援は大変重要であると考えます。医療費の無料化や足利に住んでいただけることを条件にした奨学金返済免除の制度については改めて研究していきたい。

◆高齢者スポーツの振興

問 パークゴルフの愛好者は年々増加している。市外からも参加者を募り大会のできる公認コースの取得と休憩所の完備をすることはできないか。

都市建設部長・教育次長 公認コースの取得により公式大会の誘致が可能となる。競技の普及はもとより市民の健康増進やスポーツ振興にもつながるため、取得について努力していきたい。休憩所については、当該箇所が河川敷内で台風等の増水時に撤去しなければならぬなどの課題があることから、今後利用形態を検討していきたい。



▲パークゴルフの様子

小中学生の携帯電話の利用にルールづくりを！



富永 悦子 議員

問 スマートフォン（多機能携帯電話）向けのゲームやインターネット、ライン等のソーシャルメディアが普及し、子供の利用がふえている。保護者や学校、教育委員会でルールづくりが必要と考えるがどうか。

教育長 子供の携帯電話の利用がふえたことにより、長時間使用による睡眠不足やネット上での仲間外れによる友人関係のトラブルなどさまざまな課題がある。そのような問題行動を防ぐためにはルールづくりを進め、進んでいく必要がある中で、教育委員会としても、学校やPTA等と相談して検討していきたい。



◆移住対策の推進

問 東京から地方へ移住を検討している人は約4割もいるという。本市は経済産業省が公表した「地域の暮らしやすさ」において全国トップクラスの評価を受けたが、移住対策の推進について考えを聞きたい。

政策推進部長 今回、明らかとなった本市の移住に関する多くの魅力や他の自治体との比較における優位性を改めて認識し、本市の暮らしやすさに関する情報を、移住を考えている方々に対して広くアピールしていくことが大切であると考える。本市の強みや特徴をわかりやすい形で積極的に周知していきたい。

第7次足利市総合計画の市長の目標を問う！



横山 育男 議員

問 総合計画は6年を計画期間としている。行政はずっと継続していくわけだが、この短い計画期間の中で市長として目標をもって達成したい事業・事業は何か。

市長 まちづくりを考えるとときに必要なことは、まずまちとしての土台をきちんとつくることである。それはつまり産業力、働く場を確保するということであり、生きのいい企業を誘致するなど土台をしっかりと築き上げた上で、映像のまち構想の推進や中心市街地活性化など、魅力あるまち、楽しいまちをつくるっていく。このような考え方のもと6年できちんとした道筋をつけていきたい。

◆シテイセールの展開

問 5年後に迫った東京オリンピックに向けて、観光事業者等への働きかけは他市に先駆けて行い、印象付けることが大切だと考えるがどうか。

産業観光部長 東京オリンピックというビッグチャンスを生かせるよう、本市ならではの魅力を活用したインパクトのある取り組みを行うことが不可欠である。世界中から日本を訪れる多くの方々に、足利市にきていただくためのプロモーションを展開し、誘客につなげていきたい。



▲着物でまち歩き